

大阪大学山岳会新年会

日 時：2018年2月16日（金）18:00～20:20

会 場：大阪大学中之島センター交流サロン（9F）

参加者：山岳会 大野会長、打出、大川、黒岩、科野、高田、広瀬、山田（50音順）

現 役 谷井（3、CL）、大上（3）、染井（3）、北林（2）、丸岡（2）、南口（1）、矢野（1）、山本（1）

諸般の事情で、平日（金曜日）の夕方からの開催となったことで、会員の参加者は昨年を下まわったが、今年度の新人を含む現役の参加があった。

冒頭の会長あいさつでは、本白根山の噴火に関して、登山のリスクは登山ルートだけでなく、山そのものの多面的な調査がなされるよう、勉強する必要があることが語られた。

現役からは、自己紹介の後、谷井主将から昨年の山岳部の活動報告がパワーポイントでなされ、現在の山岳部の活動状況がビジュアルに分かる報告であった。

山岳部の活動内容は、日常的なものを除いて

①山行

穂高（BC：涸沢）、北穂高岳－涸沢岳（山岳会 HP にて概要報告しています）

瑞牆山（群馬県）、ボルダリング

②クライミング

The North Face Cup（TNFC）2017 Round10（PUNP 大阪：難波）への参加（入賞者なし）が主要なものであった。

今年も上記 TNFC の参加ならびに山行についても積極的に行いたいとのこと。部員の中には雪山山行を希望するものおり、希望がかなえられる支援を行う必要が感じられた。

（昨年の山岳部の活動報告については、次回の会報 OUMC に掲載を予定しています）

その後、会員の山行報告がなされた。

山田：笠ヶ岳（8月）、黒部川下廊下（10月）、大山（11月）PPT

広瀬：立山（10月） 口頭

大野：ネパール（地震後のカトマンズ、ポカラ）PPT

関西在住の会員の高齢化にともない、参加者をいかに増やす企画とするのが課題であろう。

新年会スナップ



大野会長挨拶



山岳部員自己紹介



終了後の集合写真